



(1)

芝山町社協だより



寄り添う心

'22年3月発行
Vol.117

改めて

給食サービス事業

給食サービスは芝山町社協と町内地区社協が共同で行っている事業です。

ひとり暮らしの高齢者や高齢者だけで暮らしている方、在宅で援護を必要とする方々に月2回、定期的に夕食のおかずを届け、食生活の支援を図るとともに利用者の生活に寄り添うことを目的に行っています。

人と出会う機会が少なくなっている昨今ですが、変わらない寄り添いの心で利用者の皆さんにサービスを提供しています。

**今号の
特集****第11回 芝山町社会福祉大会
みんなでつくる福祉の町づくり**

編集発行 社会福祉法人 芝山町社会福祉協議会 芝山町飯櫃 126 番地 1 TEL0479-78-0850

ホームページ : <http://www.shibayama-shakyo.jp> E-mail: info@shibayama-shakyo.jp

この広報紙は、共同募金の配分金によって発行されています



第11回 芝山町社会福祉大会

宣 言

依然、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、日本の社会福祉もかつて経験したことのない未曾有の事態に直面している。

広範な社会・経済活動の停止により、高齢者、障がい者、児童及び乳幼児のいる世帯をはじめとする多くの人々が困窮する事態に陥り、人対人のコミュニケーションが制限される中で、社会から求められる福祉サービスの規模・範囲・内容はより多様化している。これら新たな福祉のニーズの発掘、支援の創意工夫は急務である。

このような状況の中で、住み慣れた地域で、自分らしい生活を送るために、在宅福祉サービスや小地域での住民参加による地域福祉活動の益々の充実と発展、並びに福祉施策や地域保健福祉サービスとの連携強化に向けて、公私協働による活動の展開が期待されている。

私達みんなの願いである「健康で明るい、ふれあいと支え合いのある心豊かな福祉社会」を築くため、我々は手を取り合い、決意を新たに次に掲げる事柄について一層邁進することを誓う。

- 一、在宅福祉サービスの推進に努める
- 一、地域ぐるみ福祉事業を推進し、互いに協力し合い、支え合える体制づくりに努める
- 一、福祉教育とボランティア活動の振興に努める
- 一、社会福祉協議会の活動体制を整備し、機能強化に努める

以上のとおり宣言する。

令和4年2月11日

第11回 芝山町社会福祉大会

2月11日に開催を予定しておりました第11回芝山町社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をふまえ、式典開催を中止することといたしました。
それにともない、地域の福祉について志をあらたにするため、大会宣言をここに発表いたします。

みんなでつくる

福祉の町づくり



芝山町社会福祉協議会

会長 木川 優陽

立春とはいえまだまだ寒い日が続いております。

日頃から社会福祉協議会への運営にご支援、ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。今年に入りまして千葉県は新型コロナウイルスの感染拡大により「まん延防止等重点措置」の適用を受け、2月11日に開催を予定しておりました「第11回芝山町社会福祉大会」の式典を中止とさせていただくことといたしました。なお、本大会にあたり芝山小学校、芝山中学校の児童生徒の皆さまには福祉に関する作文、標語、ポスター等多数の作品の応募をいただき、これらの作品につきましては各先生方に審査をしていただきました。入賞されました皆さん誠におめでとございます。

また、本町の社会福祉活動に、多大なる貢献をいただきました個人ならびに団体の皆さま方に表彰ならびに感謝状の贈呈をさせていただきます。本当に長年にわたり本町の社会福祉向上のためにご尽力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

振り返りますと私どもの芝山町社会福祉協議会は平成3年4月に社会福祉法人として設立され30余年が過ぎました。この間、多くの先輩、そして町をはじめ関係機関の皆さま方には今まで並々ならぬご協力、ご指導をいただいております。

いま、私たちのまわりでは、少子高齢化・核家族・一人暮らしの高齢者の増加に伴い、芝山町に於いても高齢化率35パーセントを超え、2025年には3人に1人が高齢者になるといわれております。こうした現状を考えますと、これからも住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを確立していく必要があります。町民の皆さん誰もが『芝山に生まれ、芝山町に住んで本当に良かった』と言われるような福祉のまちづくりを目指して皆さんと共に頑張りたいと思います。

結びに、受賞されました方々をはじめ関係者の皆さまの益々のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。



(3)

みんなでみんなのしあわせを!!

令和4年3月1日発行



▲ポスター部門 小学生3・4年生の部 最優秀賞
芝山小学校 4年 吉川朋孝さん



▲ポスター部門 小学生5・6年生の部 最優秀賞
芝山小学校 5年 勝又蓮斗さん



▲ポスター部門 中学生の部 最優秀賞
芝山中学校 3年 喜佐美心菜さん

福祉に関する作品コンクール 最優秀賞作品発表動画公開中

芝山町社会福祉協議会のホームページにて、福祉に関する作品コンクール最優秀賞に輝いた作品全8点を紹介したインタビュー動画を期間限定で公開しています。

芝山町社会福祉協議会ホームページ
<http://www.shibayama-shakyo.jp>
 公開期間：3月1日(火)～
 6月1日(水)まで

読み聞かせの会「芝山」様
 秋葉 茂夫様
 金森興業株式会社様
 社会福祉法人
 徳栄会芝山苑様
 医療法人社団
 徳風会高根病院様
 日蓮宗千葉東部宗務所様
 丸朝園芸農業協同組合
 チャリティーゴルフ様
 相川 勝重様 (浅川・稲葉)
 成田空港南
 ロータークラブ様
 株式会社日立物流様

芝山町社会福祉協議会会長感謝

鈴木 幸子様 (千代田)
 根本 典子様 (小池5)
 文達 正己様 (白枳)
 吉岡みよ子様 (はにわ台南)
 木内ひろ子様 (白枳)
 戸村 一江様 (大台宿)
 西海 一男様 (高田西)
 根本 雅臣様 (芝山苑)
 勝又 優里様 (芝山苑)
 小林美由紀様 (芝山苑)
 布留川正臣様 (山武市)
 荒木 幸子様 (小池1)
 土屋 秀臣様 (飯櫃)
 石井 明美様 (小原子)
 加藤はつえ様 (飯櫃)
 木川 節子様 (大台宿)
 小原 公明様 (中谷津)
 小川 浩司様 (新井田新田)

福祉に関する作品コンクール

作文部門

最優秀賞

小学生3・4年生の部
 4年 石田 悠さん

小学生5・6年生の部
 5年 村崎 結瑠花さん

中学生の部
 1年 越川 華帆さん

優秀賞
 小学生3・4年生の部
 3年 山崎 善士郎さん

4年 喜佐見 咲也さん

小学生5・6年生の部
 5年 山崎 瑤久さん

6年 佐藤 貴虎さん

中学生の部
 3年 山崎 桜さん

標語部門

最優秀賞

小学生3・4年生の部
 4年 大木 拓翔さん

小学生5・6年生の部
 6年 西海 星那さん

優秀賞
 小学生3・4年生の部
 3年 萩原 由希さん

4年 長谷川明柊さん

小学生5・6年生の部
 5年 内田 菜優さん

6年 菅谷 咲桜さん

ポスター部門

最優秀賞

小学生3・4年生の部
 4年 吉川 朋孝さん

小学生5・6年生の部
 5年 勝又 蓮斗さん

中学生の部
 3年 喜佐見 心菜さん

優秀賞
 小学生3・4年生の部
 3年 関 璃心さん

4年 石田 莉彩さん

小学生5・6年生の部
 6年 市原 ひなたさん

6年 稲葉 樹さん

中学生の部
 1年 木川 結月さん

3年 高橋 姫那さん



受け継がれゆくコミュニティの輪

ふくし
街角
コレクション



「おびしゃは単なる神事と一括りにはできなくて、地域の人を繋ぐ大切なコミュニティのひとつだと思うんだ。課題は尽きないけど、今の局面をひとつの転換期だと思つてにしているよ。次の若い人に負担がかからないよう、新しい様式を模索することにも伝統を引き継ぐ側の責任だからね」

コロナ禍によって対面での交流を控える意識が定着し、地域のコミュニケーションの希薄化が懸念される今、対面を省くことだけを考えるのではなく、今ある交流をどう維持し、継続していくかを考える時なのかもしれません。

1月22日、福祉センターにて谷平野地区のおびしゃが厳かに執り行われました。

「コロナ禍以前は、地区の集会所にて行われていましたが、感染症対策として神事の規模の縮小、内容を簡素化する形で、昨年から福祉センターで行っています。」

「おびしゃもまた、時代に合った形に変化していかないとね」と語る石田辰雄さん（谷平野）は、地区の神社総代を務める一人。

谷平野地区おびしゃ

おびしゃとは

1月から2月上旬にかけて、芝山町の各地区で行われる神事。

おびしゃはピシャ、ブシャなどとも呼ばれ、「歩射」「奉射」「武社」「毘舎」などの文字が当てられる。

弓の的を射てその年の豊作を占う行事と言われているが内容は多様で、現在町内で行われている神事は弓を射らないものが伝わっている。利根川流域の埼玉県・茨城県・千葉県にかけて分布。

いんふおめーしょん

ご不要なタオル、いただけませんか？

福祉作業所では、お寄せいただいたタオルを台ふきんに加工し、販売しています。台ふきんは大好評、現在はタオルが足りません。ご家庭に未使用のタオルがございましたら、ご寄付ください。

連絡先 芝山町福祉作業所
☎0479-78-0850

フードドライブ(食品回収)にご協力ください！

フードバンクでは、まだ食べることができるのにさまざまな理由で廃棄されてしまう食品・食材を引き取り、食べ物を必要としている方々へお届けしております。ご家庭で不要な食品があればぜひご寄贈ください。

次回フードドライブは
5月16日(月)～6月30日(木)
受け取り窓口 芝山町福祉センター

みんなの力があつまって 赤い羽根共同募金

昨年10月1日から始まった令和3年度共同募金運動は、下記の通りのご協力をいただきました。

お寄せいただいたご浄財のうち、一般募金は全額、千葉県共同募金会へ送金し、歳末たすけあい募金は町内の援助が必要な方々に「歳末お見舞金」として12月にお届けしました。

共同募金にお寄せいただいたみなさまの力は、地域のために活かされます。

募金総額 2,255,727円

一般募金 1,838,126円

歳末たすけあい募金 417,601円





(5)

みんなでみんなのしあわせを!!

令和4年3月1日発行



▲竹炭作りの準備に励みます

芝山町のボランティア活動を紹介するこのコーナー、今回は「竹炭サークルかぐや姫」のみなさんの活動取材してきました。

豊かな自然が広がる芝山町。その芝山の自然をこよなく愛し守り続ける竹炭サークル「かぐや姫」。はにわ博物館周辺や、町内の竹林の環境保全に努め、竹炭や竹製品作りを主活動と

ハローボランティア その7 レポート

竹炭サークル かぐや姫

会長：坂井 一任

主な活動：町内の竹林の環境保全と竹製品作り

した、千葉県里山環境保全条例認定を受けたグループです。

平成12年頃、鈴木平助さんが竹やぶのごみ拾いを始めたことをきっかけに、その環境保全の姿勢に賛同する方々が集まり、平成14年1月に竹炭サークル「かぐや姫」が誕生しました。芝山公園内の数家の裏手で竹を伐採していた際のメンバーの五木田治巳さんの「かぐや姫ができてきそうだな」というひとことがサークル名のもととなったそうです。

「竹害から竹財へ、というコンセプトをもとに我々は活動をしております。また最近ではSDGsで自然と共生することの大切さが取り上げられ、竹を通じて自然と人間社会の関わりを深めることが我々の想いです。最近では町外から見学にお越しになられる方もいます。ぜひ町内の方も見学や参加など、お気軽に遊びに来てください」と笑顔で語る坂井一任会長。

最初は一人の活動から始まった「かぐや姫」。芝山の自然を愛し、関わり、暮らす姿を見て人間と自然の関係を考えた一日でした。

福祉センターで実施している「いきいきライフ調理実習教室」は、減塩・低カロリーメニューで、生活習慣病の予防と改善をねらいとしています。その秘伝のレシピを講師の栄養士がご紹介!



その34

にんじんのたらこ炒め

【作り方】

- ①にんじんは、千切りにする。
- ②たらこは、皮を除いて、ほぐしておく。
- ③フライパンにごま油を入れ、にんじんを炒める。
- ④柔らかくなったら、みりんを入れ、炒め、たらこを入れ、炒める。
- ⑤しょうゆを回し入れる。



材料

(4人分)

にんじん	1本(約200g)
たらこ	1腹
みりん	小さじ1
しょうゆ	小さじ1
ごま油	小さじ2

ワンポイント

にんじんのたらこ炒めは、簡単な材料でできますし、ごま油とたらこの香りが後を引く一品です。

にんじんは手に入りやすく、食卓やお弁当の彩りにも良いかと思います。





図書室だより

やすらぎ☆ブック best3

図書担当が選ぶおススメ図書!

1位

「三千円の使いかた」

原田 ひ香 (中央公論新社)



突然の入院、離婚、介護費用。心配ごとは数々あれど、前を向いて生きていたい。女の人生、どう貯めて、どう使う? 70代、50代、30代、20代の御厨家の3代にわたる女性たちの節約ストーリー。

2位

「子どもとつながる「お話」の魔法」

シルカ・ローズ・ウエスト著 ジョセフ・サロシー著 (NHK出版)



「ねえ、お話して」とせがむとき、子どもが求めているのはあなたとのつながり。大事なのは、だれかがつくった完璧なストーリーをどう語るかではなく、自分だけのお話をつくって伝えること。愛着関係を構築する最良の方法は「語り聞かせ」だ。

3位

「世界のサラダ図鑑: 驚きの組み合わせが楽しいご当地レシピ304」

佐藤 政人著 (誠文堂新光社)



日本人にもなじみ深いサラダ。日本でも固有のサラダが親しまれてきました。対して、世界ではどうでしょうか? 世界には、日本人の知らないサラダがまだまだたくさん存在します。本書は、そんな世界各地で食されるさまざまなご当地サラダを、レシピ付きで紹介する図鑑です。

図書室からのお知らせ

蔵書点検のため2月21日(月)～3月3日(木)まで、図書室をお休みさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。
※期間中は、本の返却のみ受付いたします。



ふくし行事予定

3月

1日 まごころの輪117号発行
1、17日 給食サービス
下旬 ミニ・デイサービス
下旬 身体障害者ミニ・デイサービス

毎月上旬 ひとり暮らし高齢者誕生日祝い
毎月中旬 目の不自由な方へ声の広報発行

福祉センター休館日のお知らせ

毎週月曜日と祝日(祝日が日曜日に当たる場合は開館します)

3月 7・14・21・22・28日

4月 4・11・18・25・29日

5月 2・5・9・16・23・30日

※新型コロナウイルスの感染症の状況によっては、今後も予定を変更する可能性があります。
詳細は、社会福祉協議会のホームページでご確認ください。

使用済み切手収集報告

日頃、使用済み切手の収集について、ご協力いただき誠にありがとうございます。

この度、収集家の方に買い取っていただき、益金は町の地域福祉活動の資金のために活用させていただきます。

集まった使用済み切手 23.4kg

引き続き、社会福祉協議会では使用済み切手を集めています。

ご家庭や職場で使用済み切手がございましたら、ぜひご協力ください。

芝山町社会福祉協議会 ☎0479-78-0850



弁護士法律相談予定

福祉センターにおいて弁護士による無料相談を行っています。相談は1名(組)30分です。予定日は

3月29日(火)・4月26日(火)・5月31日(火)

です。利用希望の方は事前予約が必要です。

ふくし駆け込みテレホン ☎0479-78-0526

ふくしに関するなんでも電話相談、随時受け付けています。平日9:00～17:00

には、活用させていただきます。	未使用様	匿名様	匿名様	匿名様	匿名様	小川裕子様	長谷川光政様	伊藤喜美子様	太田英二様	匿名様	日蓮宗(多古町)	相川勝重様
お寄せいただいたご浄財	テレホンカード多数	タオル多数	花苗多数			(川津場)	(谷平野)	(小池6)	(宝馬)	1,000円	5,000円	10,000円
有効										1,000円	5,000円	10,000円
										1,000円	5,000円	10,000円
										1,000円	5,000円	10,000円

善意 ありがうございます

編集後記

▼昨年の後半はコロナウイルスも下火になり大丈夫かなと思いましたが、新しい年となってオミクロン株がはじめて若い人達にも多く大変です。カカシ

▼口も使わなければ衰える。機能低下の予防や回復には一人でも意識的に歌ったり、音読をしたりするのが効果的なのだそう。明星

▼コロナ禍でなかなか会えずにいた友達に久しぶりに会ってみたい。お互いに平穩無事に過ごしていることに安堵し、シワが増えたね、の一言に苦笑い。緑

▼人類は感染症との戦いとも言われています。コロナウイルスに負けないよう免疫力を高め、しっかり防衛し頑張りましょう。シヨッペ

▼コロナ禍が長引き、売価が急落。瑞穂の国の大切な米。微細な米粉のスイーツやパンはとても美味。加工・流通経路を工夫して生かして! 藍屋

▼葡萄よ、今年も甘くなーれ! はじめて木の皮むきを手伝った。当たり前に食べていたが、地味な作業があつて甘い葡萄ができることを知った。キウイ